令和５年度
社会福祉法人いなかわ福祉会
事 業 計 画 書

- 本部事務局
- 湯沢市稲川・皆瀬地域包括支援センター
- くるみケアプランセンター
- 健　寿　苑　（ショート含む）
- いなかわ福祉会ヘルパーステーション
- ケアセンターいなかわデイサービス
- ケアセンターいなかわショートステイ
- 配食サービス
- スマイルケアみつなし（特養）
- 小規模多機能型居宅介護事業所
- ヘルスカフェ舞夢
- あおぞらこども園
- いなかわキッズ

令和５年度　社会福祉法人いなかわ福祉会　事業計画

人口減少や高齢化の進展などによる社会構造の変化や、新型コロナウイルスの蔓延による地域社会での繋がりの希薄化などにより、社会福祉法人を取り巻く環境は大きく変化しています。
また、感染症対策に加えて、大規模災害の発生を踏まえた災害対応力の強化も求められます。「２０４０年問題」や「地域共生社会の実現」など、これまで以上に地域における様々な生活課題・福祉課題に積極的に対応していく必要があります。高齢者、乳幼児という健康リスクの最も高い集団をケアする私たちは、様々な対策とともに緊張感を強いられる状況が続いております。慢性化した職員不足もある中、職員間の連携や工夫によりサービスの質の向上に積極的に取り組んでいるところではありますが、需要が十分見込めない事業等にあっては、社会の要請、ニーズの喚起等多方面から見直し、縮小、事業転換、廃止等を視野に入れ、中長期的な見通しの計画を策定いたします。今年度当法人では、湯沢市から委託を受け、地域包括支援センターの運営を始めます。介護・医療・保健・福祉などの側面から高齢者等を支える総合相談窓口の役割を担うこととなります。住み慣れた地域で生活が継続できるように介護サービスや介護予防サービス、保健福祉サービス、日常生活支援などの相談に応じ暮らしを支えます。感染症の蔓延、慢性化した職員不足、物価高騰等厳しい経営環境が続きますが、新規事業をすすめるとともに事業の再編にも積極的に取り組み、着実に組織やサービスの質的向上を図り一層の社会貢献を果たせる法人となるよう事業を進めてまいります。

社会福祉法人いなかわ福祉会基本方針

1. 人権の尊重
　利用される方の人権を尊重し、個人の尊厳に配慮したより質の高い福祉サービスを提供します

2. 地域福祉の推進
　地域のニーズに対応し、地域と共に発展する組織を目指します

3. 職員処遇の向上
　良質な福祉人財を確保するため、職員の安全と健康を確保し職員の処遇全般の向上に努めます

4. 経営の安定
　持続可能な福祉の実現に向け経営基盤の安定に努め、社会的責任を果たします

令和５年度事業計画	事業所名：　本部事務局

現状と今後の方向性

進めてきた施設整備等による良い効果が出ております。一方では、物価や電気代高騰により厳しい運営状況にあります。今年度は地域包括支援センターの業務を受託いたします。市包括と連携しスムーズな運営ができるように進めます。

また事業の見直しも行い事業の再編計画を進め、安定した財務状況になるように努めるとともに、人材確保、人材育成も行い持続可能な法人となるよう行動いたします。

重点目標

◎ サービス体制の強化
- 目標管理制度と人事考課制度の充実
- 介護・保育人材の確保・育成
- キャリアパス整備

◎ 職員の健康増進
- 健康指導・ストレスチェック制度実施等により、健全な就業ができるよう取り組む

◎ 収入の安定的増加と経費の適正配分
- 加算等要件を満たした職員配置
- 事業の見直し再編の検討と実行

◎ 経営状況の把握
- 月次決算による検討会等の開催
- 顧問税理士との月次・四半期ごとの財務状況確認
- 法人監事による、四半期監査の実施

◎ 福祉ニーズに対する事業展開の継続
- 各事業所、拠点の問題点の見直し

◎ 法令遵守の徹底
- 内部監査の実施

会議開催一覧表

会 議 名	活 動 内 容	開催時期･頻度
理　事　会	・業務執行、事業方針の策定、実施 ・経営・運営の提案 ・収支決算書・予算書の作成、報告 ・法人事業計画の作成、報告 ・設備投資計画、採用計画の提案　　など	年４回
評議員会	・定款変更等の承認 ・事業方針の承認 ・経営・運営の提案、承認 ・法人経営・運営に関する議決機関 ・収支決算書・予算書の報告、提案、承認 ・法人事業計画の承認 ・設備投資計画、採用計画の提案、承認	年４回
監　事　会	・監査報告書の作成 ・財務諸表、事業報告の監査 ・理事業務執行の監査 ・法令遵守に沿った構成・適切な取引の確認 ・法人財務状況の確認	年４回
第三者委員会	・苦情解決処理表を基に報告、質疑応答 ・苦情解決について検討	年１回

教育訓練･研修等

プログラム名	対象者	教育訓練内容	講師等	実施期間
会計・税務 等勉強会	事務担当 職　員	・法律、会計、税、就労に関する知識向上を図る	税理士 社会保険労務士等	年数回
外部研修	事務担当 職　員	・会計、日常業務に関する各種説明会セミナー等への参加 ・法改正に関する説明会等出席	学識経験者	随時

各種委員会（福祉会全体）

会 議 名	活 動 内 容	開催頻度
経営検討委員会等	・法人全体の経営・運営に関する業務について検討	各年4回以上
事故防止検討委員会	・事例検討 ・データ集計	年6回
行事・広報委員会	・全体研修の実施 ・月刊「いなかわ福祉会だより」発行 ・「さにーぷれいす」発行	年10回
衛生管理委員会	・職員の健康増進について ・事業場における安全衛生に関する調査・報告 ・健康診断、ストレスチェックの実施 ・感染症発生時の対応検討と対策の徹底 ※感染症流行時は特別対策本部として施設長が担当者を召集し対応する	年6回
身体拘束・虐待防止検討委員会	【身体拘束】 ・様式の整備　・発生原因と結果等のとりまとめ ・報告の集計、分析　・身体拘束等報告 ・報告の適正化の検討　・適正化策を講じた後の効果 【虐待防止】 ・虐待防止のための指針整備 ・相談、報告の体制整備　・虐待等把握時の通報方法 ・発生した虐待等の分析と確実な再発防止策 ・再発防止策を講じた後の効果と評価	年4回

各種委員会（拠点ごとに活動）

会 議 名	活 動 内 容	開催頻度
防災委員会	・職員個々の防災意識の啓発と連携 ・火災、震災、その他の災害から利用者の生命と財産の安全確保	年6回
食事委員会	・食についての勉強会 ・行事食等の検討	年12回
環境美化委員会	・施設内外の環境整備 ・ボランティアとの共同活動	年4回

※各拠点に独自の委員会を設置している

令和5年度事業計画	事業所名 ： 湯沢市稲川・皆瀬地域包括支援センター

現状と今後の方向性

この地域に暮らす高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活を送り続けられるよう、専門職の支援力向上を図り信頼のできる相談窓口づくりを目指します。

また、関係機関や事業所と日常的に相談・情報共有を行い、円滑な相談支援が実現できるよう努めていきます。

重点目標

◎ 総合相談
- 来所、電話、訪問にて迅速に相談対応する
- 職員の資質向上に努め、市や関係機関と連携し相談しやすいセンターを目指す

◎ 権利擁護業務
- 成年後見制度の理解をすすめ、市と連携し適切に対応する
- 高齢者虐待の対応、通報義務等についての周知

◎ 地域ケア会議の充実
- 地域ケア会議、個別会議を開催し、課題を共有し解決に繋げる

◎ 包括的・継続的ケアマネジメント支援
- ケアマネージャー連絡会等を通じて相談しやすい仕組みができる

◎ 介護予防の支援と推進・ケアマネジメントの実施
- 介護予防活動の普及と啓発を行う

◎ 認知症総合支援事業
- 市包括と協力してサポーター養成講座を実施し、サポーター養成を継続する

会議･委員会開催一覧表

会 議 名	活 動 内 容	開催時間･頻度
・個別ケア会議	・支援困難者事例に対し、個別地域ケア会議の積極的な活用	年４回
・地域ケア会議	・稲川・皆瀬地域にて情報交換	各月１回
・自立支援型ケア会議	・自立支援・介護予防の観点から多職種の助言を得る	年４回
・エリア会議	・安心生活創造事業の訪問員と社協との情報交換	３ヶ月１回
・地域ケア推進会議 ・地域包括支援センター運営協議会 ・生活支援体制整備事業第２階層協議体会議 ・民協定例会稲川・皆瀬 ・地域密着型運営推進会議	・各種会議へ出席し情報交換	随時
・認知症初期集中支援チーム会議 ・認知症カフェ等	・支援チーム員との情報交換 ・認知症の人と家族介護者の情報交換	各年２回以上

教育訓練プログラム

プログラム名	対象者	教育訓練内容	講師等	実施期間
包括在介職員研修	職　員	・包括ケア・地域福祉について	内　部	５月
東北ブロック研修	職　員	・地域共生社会の実現にむけて	外　部	10 月
包括在介職員 現任者研修	職　員	・医療・介護・福祉の連携 ・グループワーク ・成年後見制度について	外　部	11 月

令和５年度事業計画	事業所名 ： くるみケアプランセンター

現状と今後の方向性

多職種との連携や支援困難ケースへの積極的な対応を行うほか、専門性の高い人材を確保し、質の高いケアマネジメントを実施している評価としての特定事業所加算を算定しています。

今後も引き続き特定事業所加算算定事業所として、地域の利用者の多様なニーズに合わせた支援を行っていきます。

重点目標

◎利用者の尊厳を守り、適正な居宅介護支援事業を展開する
・自立支援の観点、利用者本位を基本に支援する
・公平、公正な立場で専門的な知識を持って情報提供し、分かりやすい説明を心掛ける
・法令順守、秘密保持、個人情報保護を徹底する
・職員の資質向上に努める

◎医療機関との連携を図り、在宅生活が継続できるよう支援する
・医療機関と連携し、退院後の迅速でスムーズな介護保険の利用に繋げる
・医療ニーズの高い利用者へ適切なサービスの提供ができるように支援する
・市、地域包括支援センター、各サービス事業所と情報共有する

◎社会資源の把握と地域との連携を強化する
・地域ケア会議での情報交換、情報提供を行う
・地域での見守り支援として、地区民生委員や近隣住民の方々と協力体制を作り、インフォーマルな社会資源の開拓を進める

月別利用者取扱い計画（人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
193	193	193	193	193	193
10月	11月	12月	1月	2月	3月
193	193	193	193	193	193

（要介護：185人、介護予防・総合事業：8人）

会議開催一覧表

会　議　名	活　動　内　容	開催時間･頻度
ケアマネージャー会議	・前月の実績を考える ・地域ケア会議等から最近の動向 ・困難事例等ケース検討 ・研修報告 ・その他	月１回
ミーティング	・各自の予定の確認 ・他事業所からの連絡等	毎　日
特定事業所加算に係る会議	・利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等	週１回
事業内研修	・介護保険制度のほか、障害福祉の制度や社会資源等の勉強会の開催	随　時
事例検討会	・地域包括支援センター等が開催する事例検討会への参加 ・他居宅介護支援事業所と共同での事例検討会主催 ・主任介護支援専門員からの助言、指導等	随　時

教育訓練プログラム

プログラム名	対象者	教育訓練内容	講師等	実施期間
専門研修課程Ⅰ	実務就業後 ６ヶ月以上	・ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定 ・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状 ・対人個別援助技術及び地域援助技術 ・演習	学識経験者	８日間
専門研修課程Ⅱ 更新研修	実務就業後 ３年以上	・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 ・ケアマネジメントにおける実践事例の研究および発表	学識経験者	４日間
研修会	職員全員	・講演 ・演習等	学識経験者	年数回
主任介護支援専門員研修	実務就業後 ５年以上	・主任介護支援専門員としての役割と視点 ・人材育成及び管理 ・運営管理におけるリスクマネジメント ・地域援助技術（ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｸ） ・医療との連携及び多職種共同実践ほか	学識経験者	11 日間 (70 時間)
主任介護支援 専門員更新研修	主任介護支援専門員 実務就業後 ５年以内	・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向 ・主任介護支援専門員としての実践の振り返りおよび支援の実践	学識経験者	８日間 (46 時間)

令和５年度事業計画	事業所名 ： 特別養護老人ホーム健寿苑（短期入所含む）

現状と今後の方向性

令和３年４月の新施設開所から満２年が過ぎようとしております。医療的重度者が多い状況（平均介護度 4.1）ではありますが、コロナ禍におけるクラスター発生等も予防出来ており、入居者（利用者）、職員とも新しい環境に順応した令和４年度でありました。入居者家族からは個人のプライバシーに配慮した個室的な空間が喜ばれており、料金的にも従来型施設の料金であるため「助かる」という声をいただいています。

令和５年度は、地域の方々が安心して生活ができ、質の良いサービス・ケアの提供ができるよう職員一丸となり努力します。また、法人事業所間の連携強化、人材育成にも力を入れ、安定した施設運営を目指します。施設入所から在宅サービスまで幅広い介護ニーズに応えることができるケアセンター・健寿苑ですが、今後も地域に根差した施設として、地域住民の力になりたいと思います。

重点目標

◎入居（利用）者一人ひとりの個性や生活リズムに応じ、「その人が望む生活」を実現できるように努める

・入居（利用）者に寄り添う気持ちを大事に、その人の生活と向き合う

◎ユニットケアの考えを活かし、医療的ケア、看取り介護、口腔ケア等、職員共通の知識・技術の向上を図る。また、科学的介護情報システム（LIFE）の実践を開始する

・外部研修への参加、施設内研修の開催を通し、職員の質の底上げを図る

・現場スタッフへの科学的介護情報システムへの取り組みの啓蒙を推進する

◎拠点としての地域的役割の確立

・ケアセンターの情報を地域住民に発信し、在宅介護から特養入居まで、介護ニーズに沿ったスムーズな介護サービスが提供できるよう、柔軟性の有る運営を心掛ける

月別利用者取扱い計画（特別養護老人ホーム健寿苑）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1,382	1,429	1,382	1,429	1,429	1,382
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,429	1,382	1,428	1,428	1,336	1,429

（特養　46.1人／日　延16,865人　稼働率96%を予定）

月別利用者取扱い計画（健寿苑短期入所生活介護事業所）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
102	105	102	105	105	102
10月	11月	12月	1月	2月	3月
105	102	105	105	100	106

（短期入所　3.4人／日　延1,244人　稼働率85.0%を予定）

会　議

会 議 名	活 動 内 容	開催時間･頻度
専門職会議	・苑内における重要課題について話し合い、課題解決を図る	月１回
職員会議	・介護部門における重要課題について話し合い、課題解決を図る（未解決課題は、専門職会議で話し合う）	月１回
ユニット会議	・ユニット内における重要課題について話し合い、課題解決を図る（未解決課題は、職員会議で話し合う）	月１回
拠点リーダー会議	・事業所からの報告　　・業務の見直し ・介護、看護、相談員での問題点や方向性の確認	年６回

委員会

会 議 名	活 動 内 容	開催時間･頻度
行事・介護ｻｰﾋﾞｽ委員会	・施設行事やレクリエーションの企画・運営・実施 ・業務等の検討・改善、個別ケアの実践等、介護サービスの向上を図る ・排泄ケア向上、褥瘡対策を検討	適宜
身体拘束、虐待防止、事故防止委員会	・身体拘束、虐待防止に係る検討 ・入居（利用）者の安全確保、事故発生時の最善の対処方法、再発防止を検証	適宜 （年４回以上）
口腔ケア・食事委員会	・口腔ケアの推進や知識・技術向上 ・食事に関する検討、企画、改善	月１回
感染症対策委員会	・感染症対策指導、研修実施	適宜 （年４回以上）
環境整備委員会	・施設全体をきれいに住みやすい環境づくりを行う	適宜

※その他、法人全体の委員会にも参加

教育訓練プログラム(外部研修)

プログラム名	対象者	教育訓練内容	講師等	実施期間
階層別研修	対象職員	・職務経験年数を基盤とした「新任」、「中堅」、「指導的立場」、「管理者」に必要な知識・技術を習得する	県福祉保健人材・研修ｾﾝﾀｰ等	階層別研修の開催月
各種専門研修	対象職員	・介護・看護・調理等にそれぞれ必要な専門知識・技術を習得する	県社協等	各種専門研修の開催月

教育訓練プログラム(内部研修)

プログラム名	対象者	教育訓練内容	講師等	実施期間
新人・異動 職員研修	新任者	・業務全般、利用者緊急時の対応、書類の書き方、法令順守、個人情報保護等	各担当職員等	4月 ～ 5月
口腔ケア知識・ 技術向上研修	全職員	・歯科医師会や食介護研究会より講師を招き、口腔ケア知識・技術向上のための研修 口腔ケア総論（講義)、実技指導等	歯科医師 または法人 歯科衛生士	年1回
介護技術向上研修 (ﾎﾟｼﾞｼｮﾆﾝｸﾞ・ 体位交換等)	全職員	・介護技術向上を目指し、身体のメカニズムや実演指導等を実施	作業療法士 外部講師等	年1回
感染症対策研修	全職員	・インフルエンザ、ノロウィルス等感染症について学び、具体的な対処・処理方法を習得する ・防護服の脱着等	看護師 介護職員	年1回 冬期間
給食担当者知識・ 技術向上研修	栄養士 調理員	・食事に関する知識・技術向上のための研修(今年度はより質を上げたソフト食の提供を目指す)	法人職員 または外部 講師等	年1回
参加研修報告会	全職員	・参加した研修内容を全職員に伝え現場で実践するための研修 例）介護技術・排泄向上研修	各担当職員等	年1回

令和５年度事業計画	事業所名 ： いなかわ福祉会ヘルパーステーション

現状と今後の方向性

令和４年度は、新規の利用者を積極的に受け入れ、利用者、家族が安定した生活が送れるように支援に努めました。
令和５年度は、サービスの質の向上に努め喜んでいただけるよう取り組んでいきます。

重点目標

◎ 利用者、家族が安心して在宅生活できるための支援
・利用者、家族と信頼関係を築き、自宅での生活が維持できるように支援するとともに適切な対応ができるよう介護の質に努める

◎安定した経営の構築に努める
・安定したサービスができるように他の関係機関と連携し、訪問介護のサービスに留まらず、必要時いつでも利用できるよう対応する

月別利用者取扱い計画（人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
７２５	７２５	７２５	７２５	７２５	７２５
10月	11月	12月	1月	2月	3月
７２５	７２５	７２５	７２５	７２５	７２５

会議開催一覧表

会 議 名	活 動 内 容	開催時間･頻度
ヘルパー会議	・利用者についての情報交換 ・困難事例等ケース検討 ・研修報告 ・その他	週１回
職員会議	・前月の実績を考える ・他事業所からの連絡 ・介護支援専門員への提言	月１回
安全委員会 （障害福祉サービス事業所）	・利用者の状態の共通認識把握 ・喀痰吸引等の実施状況の把握	３ヶ月１回 必要時

教育訓練プログラム

プログラム名	対象者	教育訓練内容	講師等	実施期間
ミニ研修	全職員	・年間計画のテーマに沿って実施	内　部	月１回
事業所全体研修	全職員	・救急救命・介護技術など	外部、内部	年１回
サービス提供 責任者研修	サービス提供 責任者	・サービス提供責任者の業務のあり方	外　部	年１回
新任研修	新任職員	・訪問介護の概要、業務内容 ・行動基準 ・各種書類、記録の書き方	内　部	４月

令和５年度事業計画	事業所名 ： ケアセンターいなかわデイサービス

現状と今後の方向性

職員配置が困難になり、日曜日だけではなく令和４年５月からは、木曜日も休業日にして週５日で営業しています。当面は日・木曜日休みの週５日営業を継続します。

旧稲川地区では一つだけのデイサービスであり、地元の利用者からこれまで以上に信頼される場となれるよう、介護技術だけでなく様々なニーズに対応し、職員の定着や介護の質を高める取り組みをしていきます。

重点目標

◎質の高いサービスの提供
- 接客技術の向上（言葉遣い、接遇マナー等）
- 担当制の継続と通所介護計画の把握による個別ケアの実施
- 季節感のある行事の実施
- 健康づくりのための軽体操、口腔体操、フットケア、運動器機能訓練の実施

◎安定した経営
- 業務内容やサービス内容の見直しによる人員配置の再構築
- 新規利用者、利用回数増希望者の積極的な受け入れ
- 居宅事業所への空き情報の提供と柔軟な受け入れ

◎職員スキルの向上と人材育成
- 職員会議における研修の実施（毎月実施、チーム担当制の継続）
- OJT、OFF-JT を有効活用し、職員の質を高める

月別利用者取扱い計画（人数）　【25 人／日】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
525	575	525	550	550	550
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
550	525	550	525	500	550

会議開催一覧表

会 議 名	活 動 内 容	開催時間･頻度
職員会議	・実績報告　・各種報告 ・事例検討　・各種研修 ・サービス内容の見直し	月１回

教育訓練プログラム

プログラム名	対象者	教育訓練内容	講師等	実施期間
新任・新人研修	新任･新人職員	・デイサービスの概要 ・業務内容　・行動基準 ・各種書類、記録の書き方	管 理 者 介護主任	４月
倫理・法令遵守について	全職員	・職員が守るべき倫理や法令	管 理 者	４月
身体拘束研修	全職員	・身体拘束の排除について	委　員 担当チーム	５月
認知症ケア研修	全職員	・認知症、認知症ケアについて	担当チーム	６月
食中毒についての研修	全職員	・食中毒のまん延防止及び予防	担当チーム	７月
非常災害時の対応研修	全職員	・非常災害発生時の対応	委　員 担当チーム	８月
プライバシー保護について	全職員	・利用者のプライバシー保護の取り組み	担当チーム	９月
事故発生緊急時の対応の研修	全職員	・事故発生等緊急時の対応	担当チーム	10 月
口腔ケア研修	全職員	・口腔ケアについて	歯科衛生士 担当チーム	10 月
感染症についての研修	全職員	・感染症の発生時対応マニュアルの検討 ・感染症のまん延防止及び予防	看護職員 担当チーム	11 月
事故・ヒヤリハット事例の検討	全職員	・事故やヒヤリハットの事例検討	担当チーム	12 月
身体拘束研修	全職員	・身体拘束の排除について	委　員 担当チーム	１月
法令や制度の研修	全職員	・デイサービスに関する法令や制度について	管 理 者	随時
接遇マナー研修	全職員	・利用者と顧客に対するおもてなしの精神や接遇マナーについて	管 理 者	随時

令和５年度事業計画	事業所名 ： ケアセンターいなかわショートステイ

現状と今後の方向性

令和４年度も令和３年度から続くコロナ禍の中での事業所運営となった年度でした。しかしながら大きな事故やクラスター等の発生も無く、９割を超える安定した稼働実績を収めることができそうな予定です。

令和５年度は引き続き、施設サービスから在宅サービスまで横の繋がりに重点を置き、施設における一体的運営の強化を目指します。

また、新規利用者の受け入れや再利用者の確保、定期的な空床情報提供を行い、事業実績の維持に努めます。合わせて、事業所内研修、外部研修により職員のスキルアップにより、介護の質を高め、利用者・ご家族が満足できるサービスの提供に努めます。

重点目標

◎尊厳ある利用者に敬意を払った謙虚な姿勢で、安心安全で質の高いサービスを提供する
- 利用者に敬意を払い、謙虚な姿勢と丁寧な言葉遣いで接する
- 安心で安全なケアを行う為に、介護技術の研修会を行う
- 個別の様態や要望に対応するため、ケアプランと個別援助計画書に沿ったケアを行い、記録をする
- サービスの質の向上と課題把握のために、サービスの自己評価や内部研修の実施、外部研修への参加を行う

◎統一されたサービスを提供するため、職員同士で情報の共有を行う
- 統一されたケアを行うため、職員間での日常的な情報共有の工夫や会議での確認を行う

◎経営安定のために積極的な受け入れを行う
- 新規利用者の積極的な受け入れを行う
- サービスの再利用者確保に取り組む
- 居宅介護支援事業所へ空床情報を細やかに提供し、柔軟な受け入れを行う

月別利用者受入計画（人数）　【18.0 人/日】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
540	558	540	558	558	540
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
558	540	558	558	522	558

その他

年２回の避難訓練の実施（夜間想定避難訓練、大規模地震を想定した日中避難訓練）

会議開催一覧表

会 議 名	活 動 内 容	開催時間･頻度
職員会議	・実績報告　・研修報告 ・委員会報告　・ユニット内報告 ・内部研修	月１回
リーダー会議	・ユニット会議報告　・業務の見直し ・介護、看護、相談員による問題点や方向性の確認 ・その他	月１回
ユニット会議（北・南）	・ケースカンファレンス　・困難事例検討会 ・モニタリング　・行事（年間）	適宜開催

教育訓練プログラム

プログラム名	対象者	教育訓練内容	講師等	実施期間
倫理・法令遵守研修	全職員	・介護保険事業所としての法令順守（コンプライアンス）の再確認	管理者	４月
プライバシー保護の研修	全職員	・個人情報保護法を通してのプライバシー保護に関する内容を再確認	管理者	５月
食中毒についての研修	全職員	・事業所内の食中毒予防について理解を深める	管理者 栄養士	６月
認知症と認知症ケアに関する研修	全職員	・認知症と認知症ケアについての再確認	管理者	７月
非常災害時の対応の研修	全職員	・有事の際の基本的初期行動や対応について理解を深める	管理者	８月
指定居宅介護給付費に関する研修	全職員	・当事業所の利用料金やサービス加算について理解を深める	管理者	９月
感染症研修	全職員	・感染症の発生事例、ヒヤリハット等の検討 ・吐物等処理の対応を学ぶ（実技含む）	管理者 看護職員	10 月
事故・ヒヤリハット事例の検討	全職員	・事業所内の事故やヒヤリハットの事例検討を実施	管理者	11 月
トラブル事例研修	全職員	・事業所と家族間のリスクについて動画視聴を通して事例を検討	管理者	12 月
口腔ケアの研修	全職員	・口腔ケアについて	歯科衛生士	１月
介護技術の研修	全職員	・介護技術について	ﾕﾆｯﾄﾘｰﾀﾞｰ 外部講師等	２月
身体拘束に関する研修	全職員	・身体拘束について	管理者	３月
法令や制度の研修	全職員	・短期入所生活介護に関する法令や制度について	管理者	随時
外部研修	対象職員	・外部研修への参加		随時

令和5年度事業計画	事業所名 ： 配食サービス

現状と今後の方向性

地域における高齢者世帯や独居高齢者の方々の健康を支えるという意味で、配食サービスは、その方の生活の安心要素の一つとして定着してきました。

また、有事の際の安否確認にも繋がるという意味では、地域において重要な事業と言えます。事業実績としては、コロナ禍という事もあり食数が増えた前年度でしたが、令和5年度も現状を維持できるように取り組んでいきます。加えて、課題となっている事業経費や人材確保にも目を向け、事業の安定化を図っていきます。

重点目標

◎安心して在宅での介護、生活ができるようサポートする
- 衛生的で栄養のバランスがとれた食事で栄養改善や健康維持を目的とする
- 高齢者世帯や一人暮らしの方の安否確認

◎食事の個別ケアに努める
- 高齢者向けのメニュー、味付け、食形態で提供
- 粥、刻み食等の対応
- アレルギーや禁止食品の除去、代替食提供

◎総合事業の目的に沿い、的確な支援に努める
- 地域包括支援センターや関係機関、多職種と連携しながら、多様化した支援の一部であることを自覚した上で食事作りに取り組む

月別利用者計画　（食）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
おかず	187食	193食	187食	193食	193食	187食
弁　当	90食	92食	90食	92食	92食	90食
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
おかず	193食	187食	193食	193食	181食	193食
弁　当	92食	90食	92食	92食	88食	92食

令和5年度事業計画	事業所名 ： 健寿苑サテライト型特別養護老人ホームスマイルケアみつなし

現状と今後の方向性

令和4年度も入退院の入居者がいました。令和5年度もきちんと健康管理ができるようなケアをして行きたいと思います。

24時間シートを無くすことで、業務の縮小化により個々に寄り添うケアができるサービスをしていきます。入居者も地域の一員である為、地域との交流も進めていきます。

重点目標

◎個別の生活リズムを大切にして、その人らしい生活を送ることができる
・入居者の方々が自宅と同じような生活ができるように個別ケア・ユニットケアを進める
・入居者が楽しみをもって暮らす事ができるように、様々な行事や活動を企画し実施する

◎質の高い統一されたサービスを提供する為に職員同士で情報の共有を行い、職員の接遇や介護技術・介護の質の向上を図る
・統一されたケアを行う為、職員間での情報共有を行う
・介護の質の向上を図るために職員の処遇や知識、技術を高める事ができる研修会を定期的に行う

◎地域との結びつきを大切にし、入居者や家族等との交流の機会を設ける
・地域住民や家族等が参加できる行事を実施したり、入居者が地域のお祭りに参加して地域との交流を図る

月別利用者取扱い計画（延べ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
570	589	570	589	589	570
10月	11月	12月	1月	2月	3月
589	570	589	589	532	589

その他

会議開催一覧表

会 議 名	活 動 内 容	開催時間･頻度
職員会議	・全職員で共通課題・重要課題について話し合い、課題解決を図る	月１回
リーダー会議	・介護部における重要課題について話し合い、課題解決を図る	月１回
ユニット会議	・ユニットごとにおける重要課題について話し合い、課題解決を図る	月１回
運営推進会議	・地域代表、民生委員、市職員、利用者家族と話し合い、より良い運営推進を図る	隔月１回

教育訓練プログラム（内部研修）

プログラム名	対象者	教育訓練内容	講師等	実施期間
ユニットケアに関する研修	全職員	・ユニットケアについての研修	施設長･副施設長、ﾕﾆｯﾄﾘｰﾀﾞｰ	４月
緊急時の対応についての研修	全職員	・オンコール体制と夜間の緊急時の対応についての研修	施設長･副施設長、ﾕﾆｯﾄﾘｰﾀﾞｰ	４月
倫理･法令遵守研修	全職員	・倫理や法令、職員心得、規定等に関する研修	副施設長	５月
医療に関する教育、研修	全職員	・医療に関する知識や業務分担等、教育や研修	副施設長･看護職員	５月
食中毒について	全職員	・食中毒の発生事例、ﾋﾔﾘﾊｯﾄ等の検討 ・食中毒のまん延防止及び予防について	副施設長・栄養士	６月
薬について	全職員	・薬についての研修	看護職員	６月
身体拘束適正化の研修	全職員	・身体拘束適正化について	副施設長	７月
認知症ケア研修	全職員	・認知症や認知症ケアについて ・認知症の最新の知識等について	副施設長	７月
事故･ヒヤリハット事例の検討	全職員	・事故やﾋﾔﾘﾊｯﾄの事例検討について	副施設長	８月
事故の発生予防と再発防止の研修	全職員	・事故の発生予防や再発防止について	副施設長	８月
接遇・マナー研修	全職員	・接遇・マナーについて	施設長・副施設長	９月
非常災害時の対応の研修	全職員	・非常災害発生時の対応について	施設長・副施設長	９月
プライバシー保護の研修	全職員	・利用者のプライバシー保護の取り組みについて	施設長・副施設長	10 月

感染症研修	全職員	・感染症の発生事例、ヒヤリハット等の検討について ・感染症のまん延防止及び予防について（実演を含んだ研修）	副施設長・看護職員	11 月
ターミナルケアに関する研修	全職員	・ターミナルケアと精神的ケアに関する研修	副施設長・看護職員	12 月
事故発生緊急時の対応の研修	全職員	・事故の発生等緊急時の対応について	副施設長	1 月
事故の発生予防と再発防止の研修	全職員	・事故の発生予防や再発防止について	副施設長	1 月
身体拘束適正化の研修	全職員	・身体拘束適正化について	副施設長	2 月
法令や制度の研修	全職員	・地域密着型特別養護老人ホームに関する法令や制度について	施設長・副施設長	随時
介護技術の研修	全職員	・介護技術について	介護主任 ユニットリーダー 外部講師	随時
外部研修	全職員	・外部研修への参加		随時

令和５年度事業計画	事業所名 ： 小規模多機能型居宅介護ｽﾏｲﾙｹｱみつなし

現状と今後の方向性

令和４年度の４月は９名の登録定員からのスタートで、新規の利用者の受け入れをその都度行ってきましたが、登録されている利用者が入所したこともあり登録定員を伸ばすことができず登録定員は減となっています。

また、利用相談は寄せられていますが、希望しているサービス利用へ添うことが難しく登録へと結び付かず、悩みとしています。今後も空き情報を細やかに提供し登録人数を増やし、住み慣れた地域での生活が継続きるようにしていきたいと思います。

重点目標

◎多機能としての機能性を活かし、利用者の生活を柔軟に支えていく
- その人らしい生活が送れるように、必要時には利用者や家族に意向を確認し適切な対応が出来るように努める
- 軽体操や季節行事等を行い、利用者の心身の健康づくりに努める。
- 介護の質の向上を図るため、職員の待遇や知識・技術等の外部・内部研修を計画的に実施

◎地域に根差した事業所になれるように、地域との連携を図る
- 運営推進会議を定期開催し、事業所運営やサービス内容に対して助言いただき、質の向上を図る
- 地域行事や施設内行事での交流を通して、地域や家族等との関係づくりに努める
- 地域の方と一緒に防災訓練を実施し、災害時における連携や協力ができる体制づくりに取り組む

◎新規の利用者を積極的に受け入れる
- 業務内容やサービス内容の見直しを行う
- 関係機関へ空き情報の提供を行い、新規利用者の積極的な受け入れを行う

月別利用者取扱い計画（登録人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
8	8	9	8	8	8
10月	11月	12月	1月	2月	3月
9	8	8	8	8	8

会議開催一覧表

会 議 名	活 動 内 容	開催時間･頻度
職員会議	・職員で事例検討や重要課題について話し合い、利用者に関する情報共有や留意事項についての意見交換、各種委員会及び研修報告を行う	月１回
運営推進会議	・地域代表、民生委員、市職員、利用者家族に参加していただき、各サービスの活動状況を報告し、事業所の運営に対する評価、要望、助言をいただき、サービスの質の確保及び適切な運営を目指す	隔月１回

教育訓練プログラム（内部研修）

プログラム名	対象者	教育訓練内容	講師等	実施期間
緊急時の対応についての研修	全職員	・緊急時及びオンコール体制と夜間の緊急時の対応についての研修	管理者	４月
感染症等のまん延防止及び予防の研修	全職員	・感染症の予防及びまん延防止についての研修	看護職員	５月
食中毒についての研修	全職員	・感染症及び食中毒の発生予防及びまん延防止に関する研修、事例検討等	栄養士 管理者	６月
成年後見制度についての研修	全職員	・成年後見制度に関する知識の習得	管理者	７月
事故の発生または事故再発防止についての研修	全職員	・事故の発生予防またはその再発防止に関する研修、虐待について	介護職員	８月
非常災害時の対応についての研修	全職員	・火災、風水害、地震等による非常災害発生時の対応についての研修	管理者	９月
ﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰ保護の取り組みについての研修	全職員	・利用者のプライバシー保護の取り組みについて	管理者	10 月
倫理及び法令遵守についての研修	全職員	・従業者が守るべき倫理､介護ｻｰﾋﾞｽに関連する各種法令等についての研修	施設長	11 月
身体拘束等の排除についての研修	全職員	・身体拘束の排除に向けた取り組みや制度の理解、事例検討等	介護職員	12 月
認知症及び認知症ケアについての研修	全職員	・認知症及び認知症ケアに関する研修 ・認知症高齢者に対する配慮や接し方	管理者	１月
介護技術についての研修	全職員	・介護技術の習得についての研修	介護職員	２月
身体拘束等の排除についての研修	全職員	・身体拘束の排除に向けた取り組みや制度の理解、事例検討等	介護職員	２月
医療についての研修	全職員	・利用者の健康を維持するための医療に関する知識や理解を深める研修	看護職員	３月
ターミナルケアについての研修	全職員	・ターミナルケアについての研修	看護職員	３月
新任の従業者を対象とする研修	全職員	・新任の従業者に対する研修	管理者	随時
外部研修		・外部研修への参加		随時

令和５年度事業計画	事業所名 ： ヘルスカフェ舞夢

現状と今後の方向性

Ｒ４年度も、登録者数はほぼ定員いっぱいの状態を維持できました。土曜日のフォローアップ教室も多くの方に参加して頂き賑わっています。今後も、ニーズの把握に努め、利用者に喜んで頂けるようなサービスを提供していきたいと思います。

また、積極的に新規利用者を受け入れ、経営の安定を図っていきます。

重点目標

◎質の高いサービスの提供
- 接客技術の向上（言葉遣いと接客マナーについて）
- 定期的な体力測定の実施・評価と個別目標の見直し
- 運動機能訓練技術の習得と機能訓練の実施
- 感染症予防対策の徹底

◎安定した経営
- 新規利用者の積極的な受け入れ
- 居宅介護支援事業所や関係機関への情報提供の実施

◎職員のスキル向上と人材育成
- 職員会議における検討会や研修の実施
- 各種制度やサービスの法的解釈の研修

月別利用者取扱い計画（延べ人数）

４月	５月	６月	７月	８月	９月
240	240	240	240	200	240
１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
240	240	200	200	200	240

その他

会議開催一覧表

会　議　名	活　動　内　容	開催時間･頻度
職員会議	・実績報告・事例検討・個別機能訓練計画の検討	月１回

教育訓練プログラム

プログラム名	対象者	教育訓練内容	講師等	実施期間
倫理・法令遵守	職　員	・守るべき倫理や法令	内　部	6月
身体拘束について	職　員	・虐待・身体拘束の防止について	内　部	7月
個人情報利用保護について	職　員	・個人情報の取り扱いについて	内　部	9月
事故発生・緊急時対応研修	職　員	・事故発生や緊急時の対応	内　部	10月
職員研修	職　員	・介護予防に関する研修	外　部	11月
身体拘束について	職　員	・虐待・身体拘束の防止について	内　部	12月
法令や制度の研修	職　員	・介護予防・日常生活総合支援事業に関する法令や制度について	内　部	2月

令和５年度事業計画	事業所名 ： あおぞらこども園

現状と今後の方向性

今年度も職員３名が産休育休を取得し、保育教諭が減少するため、人員配置の工夫、採用等は入園状況をみながら行っていきます。

また、学童の空き部屋再利用についても積極的に取り組み、他園の事業の内容について見学を通し教えていただきながら、自園に合った事業を行っていけるよう提案していきます。

新型コロナウイルスへの感染予防対策も緩和される方向なので、それに応じた行事や地域との関わりについて、状況をみながら充実させていきます。

重点目標

◎教育保育について

・「キャリア教育」について職員一人ひとりの知識と理解を深めるための研修を行い、意識して計画に取り入れ、発信できるようにしていく

◎経営・組織

・学童の空き部屋再利用を令和６年度中に行えるよう進めていく

・外部との関わりや問題解決等を行うことがあった時には、直接関わっていなくても報告時に自分に置き換えて考えるなどを行い、職員全員が参加している意識を高めていく

◎開かれた園づくり

・新型コロナウイルス感染症予防対策が緩和されていく方向なので、地域との関わりを徐々にできる範囲で充実させていく

月別利用者取扱い計画　（延べ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
124	125	127	128	129	131
10月	11月	12月	1月	2月	3月
132	132	132	132	132	132

昨年度実績

4月	5月	6月	7月	8月	9月
122	123	127	128	129	131
10月	11月	12月	1月	2月	3月
131	131	131	132	131	131

会議･研修開催一覧表

会 議 名	活 動 内 容	開催時間･頻度
職員会議	・月毎の行事等の確認と反省 ・各クラス担任からの園児に関する情報共有 （連携と協力体制の確認） ・園外研修報告など	年 12 回
給食会議	・献立内容、衛生面、アレルギーの確認等	年 12 回 （職員会議後）
リーダー会議	・週の主な活動や重要事項等の確認 ・園児に関する情報共有	毎週月曜日
行事担当会議	・担当者が中心となり園３大行事の内容、進行を確認	行事前
園内研修	・研修担当を中心にテーマを決めて研修を進める	年 12 回
ヒヤリハット委員会	・保育部内のヒヤリハットをまとめ、今後の事故防止のための注意喚起を行う	年 6 回
湯沢市保育施設連絡協議会 ・園長会議 ・主任会議	・湯沢市内の園長が集まり、湯沢市との連携を図る ・連絡協議会等の行事の話し合い ・情報交換	年 6 回

教育訓練プログラム

プログラム名	教育訓練内容	講師等	実施期間
他機関による研修 ・保育研究大会 ・乳幼児保育研修 ・主任保育士研修 ・PDCA 研修 ・5 年､10 年経験者研修　等	・職員の勤続年数、業務内容や希望に合わせ、参加する研修を検討し、園全体の資質向上を図る	外部講師	随　時

令和５年度　稲川子育て支援センター事業実施計画

活動項目	活動	活動内容	実施計画
相談業務	子育て相談 電話相談など	・育児不安解消のための知識や技術を提供する ・幼児虐待防止、早期発見 ・ストレス解消	毎週月曜～金曜日 （祝祭日を除く） AM9 時～PM4 時
子育て支援の活動	支援室の開放	・母親同士の交流、仲間づくりの場を提供 ・親子で存分に触れ合う場の提供 ・育児不安解消のための情報提供 ・子ども同士の触れ合いの場、遊具の提供 ・サークル活動の立ち上げ ・育児相談	毎週月曜～金曜日 （祝祭日を除く） AM9 時～PM4 時
	絵本の読み聞かせ	・乳幼児期からの絵本の読み聞かせの大切さを知らせる ・親子でいろいろな絵本に親しむ機会をつくる	毎週火曜、木曜日
	絵本の貸し出し	・支援室の絵本を貸し出し、親子の触れ合いや絵本を楽しんでもらう ・絵本への興味のきっかけづくり	毎週月曜～金曜日 （祝祭日を除く） 貸出期間２週間
	チャレンジタイム	・様々な活動を通し、親子の触れ合いの場をつくる ・母親同士の交流、仲間づくりの場の提供、育児相談 ・講師による育児講座	毎月１回 AM10 時～11 時
	誕生会	・誕生会に親子で参加し、楽しんでもらう	毎月１回 AM10 時～11 時
	すくすく成長記録	・身長、体重の測定会	毎月１回 AM9 時～PM4 時
	クッキング	・様々な活動を通し、親子で触れ合える場を作ったり、仲間づくりの場の提供をしたりしていく	年６回程度（予約制） AM10 時～11 時
広報活動	通信の配布 ポスター作成 パンフレット作成	・行事のご案内等を個々に知らせる ・子育てに必要な知識や身近な情報を提供する ・市民に事業内容を理解してもらう	年 12 回

令和５年度　稲川子育て支援センター年間活動計画

	支援室開放 相談受付 絵本貸出	絵本読み 聞かせ	すくすく 成長記録	ﾁｬﾚﾝｼﾞﾀｲﾑ	誕生会	ｸｯｷﾝｸﾞ （予約制）	ｾﾝﾀｰ会議
４月	毎週 月曜日 ～ 金曜日 ９時～ 16時	毎週 火曜日 と 木曜日	７日	15日 こいのぼりを 作ろう	20日 誕生会	なし	月１回
５月			12日	未定 ３支援ｾﾝﾀｰ 合同遠足	６日 誕生会	10日 こいのぼり サンドｳｨｯﾁ	月１回
６月			２日	17日 園庭で遊ぼう	20日 誕生会	なし	月１回
７月			７日	22日 水遊び	20日 誕生会	12日 簡単パフェ	月１回
８月			４日	19日 うちわを 作ろう	５日 誕生会	なし	月１回
９月			１日	16日 お月見うさぎ を作ろう	21日 誕生会	13日 ﾌﾙｰﾂﾎﾟﾝﾁ	月１回
10月			６日	21日 運動会 ごっこ	20日 誕生会	なし	月１回
11月			10日	25日 おもちゃを 作ろう	22日 誕生会	８日 ｸﾚｰﾌﾟ	月１回
12月			１日	22日 ｸﾘｽﾏｽ会	20日 誕生会	なし	月１回
１月			５日	20日 鬼のお面を 作ろう	19日 誕生会	10日 雪だるま おいなりさん	月１回
２月			２日	17日 おひな様を 作ろう	３日 誕生会	14日 おひな様 スウィーツ	月１回
３月			２日	17日 楽しみ会	３日 誕生会	なし	月１回

令和５年度事業計画	事業所名 ： いなかわキッズ

現状と今後の方向性

令和４年度から４小学校が１つに統合し、学童も稲川小学校に隣接され、市の指定管理として事業がスタートしました。

コロナ渦ということもあり、密を避ける為、１つ学習室を増やした。ホールを学習室にしたため、児童の遊びが制限されホール本来の使い方ができませんでした。今後は状況をみながら対応していきます。

事故や怪我のないよう、人員配置や職員連携を強め、子どもの健全な育ちをサポートしていきます。

重点目標

◎保育の充実
・遊びの場が制限された中で、自分達で遊びを考え工夫できるようにサポートする
・学業（宿題等）と遊びのメリハリができるように環境を整え、充実を図る
・コロナ渦の状況に合わせながら環境の再構成をする

◎職員間のコミュニケーション
・報連相の徹底（会議、伝言、メモ、業務日誌等、何でも話せる環境づくり）

◎家庭との連携
・送迎時の会話、電話、メールの活用、通信等を通して、信頼関係を築く
・傾聴の姿勢を大切にする

◎小学校や地域との連携
・学校行事、下校時間等の報告、情報交換会の実施
・民児協の方々との定例会や交流会の実施

月別利用者取扱い計画　（延べ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1,130	1,130	1,130	1,220	1,220	1,220
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,110	1,110	1,110	1,160	1,160	1,160

会議開催一覧表

会　議　名	活　動　内　容	開催時間･頻度
職員会議	毎月の活動内容等の検討をしながら充実した放課後の時間に繋げる	月１回
情報交換会	①地域への情報発信 ・稲川地区、民児協の方々との定例会を開催し、情報を発信したり、児童との交流会をしたりする ②小学校との情報交換 ・情報交換等を通し児童の安心・安全な生活に繋げる ③保育施設との情報交換 ・主に新１年生を対象に必要な情報を得ながらスムーズな学童保育の利用に繋げる	適宜

教育訓練プログラム

プログラム名	対象者	教育訓練内容	講師等
放課後児童支援員認定資格研修	職　員	支援員資格取得のための研修	秋田県
放課後児童支援員等資質向上研修	職　員	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準第 10 条第 3 項に規定する研修	秋田県
支援員研修	職　員	支援員研修	湯沢市主催

令和５年度　いなかわ福祉会　事業所別年間行事・活動予定表

	法人全体	事務局	ケアプラザいなかわ		ケアセンター					スマイルケアみつなし		舞夢	あおぞら	いなかわキッズ
			包括	くるみ	健寿苑（ｼｮｰﾄ含む）	ヘルパー	ケアデイ	ショート	配食	特　養	小規模			
４月							花見ドライブ	花見散歩		花見ドライブ	花見ドライブ		入園式 歓迎会	歓迎会
５月	ﾁｬﾚﾝｼﾞﾃﾞｰ				花植え 避難訓練（夜間）		花見ドライブ	花見散歩 花植え 避難訓練（夜間）		花植え 下宿お祭り 運営推進会議	花植え 下宿お祭り 運営推進会議		こどもの日 楽しみ会	防災訓練 （地震）
６月	職員健診	法人監査 理 事 会 評議員会								避難訓練（夜間） 外食ドライブ	避難訓練（夜間） 新緑ドライブ		保育参観	
７月		四半期監査					調理レク	七　　夕 おやつﾊﾞｲｷﾝｸﾞ 花　火		あやめ園ﾄﾞﾗｲﾌﾞ 運営推進会議	あやめ園ﾄﾞﾗｲﾌﾞ 運営推進会議		夏まつり プール開き	防災訓練 （火災）
８月		職員採用試験 （大学・短大・専門学校）			ミニ納涼祭		七夕まつり かき氷	かき氷 スイカ割り		七夕まつり	七夕飾り かき氷		七夕まつり	夏休みｲﾍﾞﾝﾄ
９月	ｽﾄﾚｽﾁｪｯｸ	理 事 会 評議員会	介護者教室		敬老会		敬老会	地蔵様まつり 敬老会		秋まつり 敬老会 運営推進会議	敬老会 稲庭うどん試食会 運営推進会議		親子運動会	防災訓練 （防犯）
１０月		半期監査 職員採用試験（高校・専攻）			ミニ運動会 避難訓練	避難訓練	ミニ運動会 紅葉ドライブ 避難訓練	ミニ運動会 避難訓練 おやつレク （きりたんぽ）		避難訓練 紅葉ドライブ	避難訓練 紅葉ドライブ		小遠足	ﾊﾛｳｨﾝｲﾍﾞﾝﾄ
１１月	夜勤者健診	理 事 会 評議員会					おやつレク	おやつレク （さつまいも）		紅葉ドライブ 運営推進会議	紅葉ドライブ 運営推進会議		ゆうぎ会	避難訓練 （Ｊアラート）
１２月					クリスマス会		クリスマス会 忘年会	クリスマス会 もちつき おやつレク		クリスマス会 もちつき	クリスマス会		クリスマス会 もちつき大会 保育参観	冬休みイベント
１月		四半期監査					書初め			書き初め 運営推進会議	書き初め 運営推進会議		そりすべり	
２月					節分		節分	節分 おやつレク		下宿火祭り 節分	下宿火祭り 節分		節分 年長児と楽しみ会 そりすべり 小学校１日入学 体験入園、入園説明会	避難訓練 （まとめ） 保護者説明会
３月		理 事 会 評議員会 第三者委員会			ひなまつり		ひなまつり	ひなまつり おやつレク		ひなまつり 運営推進会議	ひなまつり 運営推進会議		ひなまつり 卒園式	卒業・進級 イベント
その他					誕生会 ふるさとﾄﾞﾗｲﾌﾞ		誕生会	誕生会		誕生会 クッキング	誕生会 タッチングケア アコーディオン演奏		誕生会、避難訓練 地域との交流 中学生との交流 交通安全教室	